

運営スタッフ・施設紹介

スタッフ数 24名(男性10名、女性14名)

平成23年度3月末現在

- 東田エコクラブ 5名
- 北九州市環境ミュージアム 12名
- 山田緑地 3名
- 北九州市エコライフプラザ 4名

- 障がい者雇用 1名
- 平成22年度新入職員 5名(新卒採用3名、中途採用2名)
- 平均年齢 約35歳
- 出身地 北九州市内12名/福岡県内4名/九州内3名/九州外5名

東田エコクラブ

東田エコクラブには、里山を考える会の本部を含め8団体(NPO法人3団体、株式会社2社、協議会2団体、大学関係1社)がはいつている。ここでは日本人の知恵が詰まった里山の保全活動を行うとともに、その知恵を持続可能な社会づくりに活かす活動を行っています。



庭は人間の基本「食べる」より「食べられる庭」をコンセプトにデザイン。裏にはコミュニティガーデンがあり地域の方の手が行き届いている。

大きな窓ガラスから沢山の光と風を取り込むとても気持ちの良いオフィスです。ぜひ一度、お立ち寄りください。

山田緑地

「30世紀の森づくり」をコンセプトに「環境モデル都市・北九州市」の有料公園として「自然」と「人」をつなげる自然環境教育プログラムの開発と実施を行っている。21年度よりドネーション制度を導入し、山田緑地の趣旨に賛同・応援していただける方と一緒に自然の維持・継続をはかる。



大きな芝生広場で家族や友達と楽しめる遊び道具が詰まったバッグを貸出し運動できる。

- 場所 : 北九州市小倉北区山田町
- 年間来館者 : 69,417名
- 主な活動 : 自然体験プログラムの開発・実施、ガイドウォーク、各種イベントの企画運営、森先案内人養成講座等
- ホームページ : <http://yamada-park.com/>

北九州市環境ミュージアム

従来のイベントに加えエコハウス生活講座などを新たに開設し、エコライフにつながるものとして好評を得た。夏休みには、夏休み宿題お助け企画として「宿題のヒント見つけたっ！」イベントを新しく実施。牛乳パックを使った工作や実験など、自由研究に即役立つ、かつエコに対する意識を向上させるものとして好評を得た。また企画展を開始し、今年度は最新エコ文具展を開催。ごみを出さないホッチキスやタピオカでん粉ののりなど最先端の文具を紹介。来館者が面白いと言いながら楽しんで見られる場面が多く見られた。



北九州エコハウスは環境省による「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」により整備された、ライフサイクル全体で環境負荷低減が可能な住宅設計手法を活用したモデルハウス。

来場者に対して、エコハウスのメリット等を直接体験してもらい、環境ミュージアムインタープリターにより、快適な暮らしを実現する環境と共生できる住宅の有用性を提案している。

- 場所 : 北九州市八幡東区東田2丁目2番6号
- 年間来館者 : 111,919名
- 主な活動 : 来館者・団体の環境学習、イベントの開催など
- ホームページ : <http://www.eco-museum.com/>

北九州市エコライフプラザ

これまでの3R推進、グリーンコンシューマーの育成、エコ商品の普及、啓発、循環型ライフスタイルの提案、ワークショップを通じた環境学習に加え、「環境モデル都市・北九州市」としての低炭素社会づくりを、イベントや展示、エコライフプラザニュースを通して提案した。



22年度は開館以来初めてリニューアルを実施し、パネルやレイアウトを一新した。明るい雰囲気でも立ち寄りやすくなったことにより、来館者が大きく増加した。エコライフプラザニュースも紙面を見やすく変更し、手に取ってもらいやすくなった。新商品も幅広く展開した。

- 場所 : 北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号A1Mビル2階
- 年間来館者 : 37,064名
- 主な活動 : エコ商品の展示、販売、ワークショップ開催など
- ホームページ : <http://www.ecolifeplaza.com/>

4施設にブログができました!

環境時業の紹介だけでなく個性的な職員が書く日々の記録は必見です! 里山を考える会ホームページよりアクセスできます。ぜひご覧ください。

- 東田エコクラブ : <http://nposatoyama.blogspot.com/>
- 環境ミュージアム : <http://ecomuseum123.blogspot.com/>
- 山田緑地 : <http://yamada-park.blogspot.com/>
- エコライフプラザ : <http://www.ecolifeplaza.com/>



平成22年度 活動報告



平成23年4月

特定非営利活動法人 里山を考える会

H22
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
H23
1月
2月
3月

自主事業
北九州・平尾台
トレイルランニングレース

日本三大カルストの一つと呼ばれる北九州国定公園・平尾台を舞台に、トレイルランニング第一人者の石川弘樹氏がプロデュース。カルスト台地を駆け抜け、目の前に広がる景色に、全国から集まった走者は息を呑んだ。住民や消防など、地元の方がボランティアでレースを支えており、地元の温かいおもてなしはランナーから定評がある。

- 開催場所：平尾台
- 出走申込：497名



指定管理者業務
未来ホテルデー'10

環境月間の6月に環境ミュージアムおよび周辺施設にて、市民団体、企業、市と協力して環境イベントを開催。「エコがギュッと大集合！」をテーマとし、イベントを通してエコを体験し、遊びながら学べる一日となった。

- 開催場所：北九州市環境ミュージアム・北九州エコハウスおよび周辺施設
- 来場者：7,102名



自主事業
JAZZ パーティー

工場跡地の東田は住居者が少なく、コミュニティがないため、音楽を通して人が集まり、交流する場を作りたいと開催。プロミュージシャンをお呼びし、たくさんの方が集まり、新しいコミュニティができ、楽しい時間を過ごした。



自主事業
竹灯籠イベント

北九州市内で切り出した竹を活用し、灯籠を製作。温かい光で、涼しげな夏の夜を演出した。使い終わった竹は炭に変身し、資源が市内で循環するサステナブルなイベント。平成22年度は中央町のレインボープラザと小倉イルミネーションで実施した。

- 開催場所：中央町レインボープラザ 小倉城周辺広場



自主事業
JAZZ パーティー

絵本を通して大切にしたい言葉やエピソードを伝える場。寄付により絵本を集め、50名の方よりおすすめ絵本をメッセージを添えて展示してもらう。絵本の読み聞かせや子ども紙芝居、じゃばら絵本の工作も実施し、見て聴いて触れて感じる展覧会となった。子どもだけでなく、大人も絵本の感性に改めて気付くことができるようになった。

- 開催場所：山田緑地
- 来場者：1,880名



自主事業
もりフォーラム

認知症の方、そのご家族の方を含め様々な方に自然の中でゆっくりすごしていただき、一日を楽しんでもらうイベント。「うたごえフォーラム」では、会場が一体となって唱歌「もみじ」を歌い、生き生きとした笑顔が溢れた。福祉、環境のボランティアを中心に高大学生や一般の方、企業、行政が手を取り合って運営を行った。

- 開催場所：山田緑地
- 来場者：1,712名



自主事業
手づくり市場 in 北九州

「手づくりで心豊かな暮らしを」をテーマに手作り作品の展示会を開催。使わなくなった端切れで洋服をこしらえたり、休憩所で編み物を楽しんだり、イベントが終わってからも暮らしが楽しくなるイベント。今年度は、おいしい手づくりとして西部ガスと共同開催し、パンづくり体験や料理教室、食品サンプルづくりなど親子で楽しめるイベントも多く開催。さらにカフェスペースを拡大し、会場でゆっくりくつろげる二日間となった。運営は、地元手芸業者を中心に大学や地域情報誌などと協働し、当日は大学生もボランティアとして運営に関わった。

- 開催場所：西日本総合展示場 本館
- 来場者：13,434名



福岡水素タウン始動!

福岡県の福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)の社会実証として八幡東区東田エリアで水素タウン事業スタート!市街地の地下に水素パイプラインが敷かれ、東田エコクラブ、北九州エコハウス、バードハウスや一般家庭(ひがしだH2)で燃料電池を使った実証実験を行っている。



運営協力
水素ツアー

福岡水素タウンプロジェクトを視察に来る方に、システムやまちづくり、実際に利用しての感想などを環境ミュージアムのインタープリターがツアーを組み案内した。

- 開催場所：北九州市八幡東区東田地区
- 参加者数：65名(平成22年2~3月実績)
- 参加団体：西部ガス、岩谷産業、東芝、愛知県長久手町役場、福岡県国際経済観光課、経済産業省産業機械課など



運営協力
水素タウンミーティング

燃料となる水素について、燃料電池の原理を実験などを通して解説。参加者が水素を身近に感じられるミーティングを実施した。

セグウェイプロジェクト 自主事業

平成21年7月より山田緑地で体験試乗を実施。また、「学びで地域活性化プロジェクト」において、ネイチャーツアープログラムを開発。最新技術を用いることで「人」と「自然」をつなぐ新たな切り口を作る。電動立ち乗り二輪車セグウェイで周るネイチャーツアーは気分爽快!

■実施回数：22回
■参加者数：52名
■実施場所：山田緑地

エコdeバザール 自主事業

小倉駅北口のA1M2階にて、モノを大事に長く使い、ごみを減らすための環境に配慮したフリーマーケットを開催。ブームラン工作、食育セミナー、ハワイアンダンスなど、楽しいワークショップやイベントも同時に開催し、一日くつろげるイベントを行った。

北九州市道路サポーター 委託事業

地域の団体や市民センターが自主的にしている道路周辺の清掃活動をサポートする事業の事務局を北九州市より受託。八幡東区、八幡西区、若松区、戸畑区、計78団体に掃除用具をお届けした。景観美化をはかるため花の苗を植えたいという団体には花の苗も支給。活動をする方へ用具・苗の配布の他、取材等を行い直接交流をする事により、地域の魅力を再発見でき、コミュニティが広がった。

環境体験科 指定管理者業務

北九州市教育委員会との協働事業。自ら行動できる子どもの育成を支援し、市内小学校4年生を対象に体験活動を取り入れた学習を実施。

<山田緑地>
山田緑地のオリジナルプログラムを開発し自然体験を実施。自然の大切さや魅力を体験する機会となった。
■参加校数：72校
■参加者数：5,037名

<環境ミュージアム>
インタープリターが学校ごとにオーダーメイドした環境学習プログラムを実施した。
■参加校数：58校
■参加者数：3,776名

他にも活動、事業があります!

- ◆北九州ESD協議会・北九州エコライフステージ 協力
- ◆環境パスポートセンター
- ◆八幡東田まちづくり連絡会 協力
- ◆大学生へNPO法人についての講義
- ◆水素実証住宅「ひがしだH2」◆COP10にて活動紹介

里山トラスト会議 自主事業

人の手が行き届かなくなった竹林を市民の手で再び活用するプロジェクト。土地のオーナー、森林関係者、一般市民、様々な方が協働により楽しみながら里山を保全している。春はたけのこ掘り、夏は山の下草刈り、秋は収穫祭、冬は夜空の観察会と季節を感じられるイベントを開催。

Satoyama Trust CONFERENCE

グリーンマップ 自主事業

散策しながら自分の暮らしているまちの自然、文化、環境をテーマにマップをつくった。平成22年度は小倉都心部と東田地区で実施。東田は産業が栄えた当時の遺産、現在の環境への取り組み、次世代のまちづくりの実証実験エリアが一つの地域に集まっており、過去から未来までを象徴する設備があることがわかった。参加者は、自分のまちの魅力に初めて気付いたと喜んでいました。

■開催日：平成22年10月16日(土)
平成23年3月30日(水)
■参加人数：小倉イベント15名、東田イベント大人9名、小人9名

JICA 交流 自主事業

国外からの来賓の方と文化を超えて交流し、多くの方に北九州のファンになってもらう交流会。お互いに手厚いおもてなしで歓迎した。英語でのコミュニケーションで、グローバルな意見が交換された。

北九州スマートコミュニティ創造事業 協力

政府の成長戦略に位置づけられるスマートグリッドの北九州版。8月よりスタートした。エネルギーグリッド・ヒューマングリッドだけでなくグリーングリッドを含むのが北九州市の特徴。里山を考える会は、主にヒューマングリッドとグリーングリッドをつなぐコミュニティ部会に参加している。

ピザ窯に屋根が!

東田エコクラブにあ横にあるピザ窯に屋根が出来た。製作してくれたのは、ポリテクノカレッジの学生と先生。「地元の木を使う」をコンセプトに、風が強い東田でも飛んで行かない頑丈な屋根をつくってくれた。